

社会医療法人有隣会 東大阪病院

東大阪病院ニュース 2025年 春号



【目次】

P.1:院長のご挨拶 P.2:新任医師のご紹介 / 整形外科について P.3:外科・消化器外科について P.4:リハビリ通信
P.5:登録医紹介 P.6:管理栄養士提案レシピ P.7:外来診療一覧 P.8:お見舞い・面会の方へ / 病院概要

院長のご挨拶

地域の皆さん、そして当院をご利用いただく全ての皆さん、2025年度を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

春の光が、新たな希望を運んでくるこの季節、皆さんにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、先日発表された土地取引の指標となる公示地価において、当院の所在する城東区蒲生四丁目周辺は、その利便性の高さから大阪の上昇率トップ（上昇率10.5%）と発表されました。この公示地価の上昇は、この地域が活気に満ち、発展を続けている証であり、私たち医療機関にとっても、地域社会の一員として、その発展に貢献していく責任を改めて感じています。

昭和26年4月にこの地に開院して以来、70年以上の長きにわたり、地域の皆さんの健康を支援してまいりました。そして、2023年10月には、長年の念願であった新病院への移転という大きな節目を迎えました。各種医療設備を備え、患者さんにとってより快適な療養環境をご提供できるようになったことは、私たちにとって大きな喜びです。私たちはこの機会に、改めて当院の理念「地域社会との共存共栄」「地域住民の健康を支援することで、地域社会に貢献すること」を深く胸に刻み、地域医療への貢献という原点を見つめ直しました。

医療は、地域社会の「生命線」です。私たちは、地域の皆さんとの信頼関係を築き、連携を強化することで、地域全体の医療水準向上に貢献したいと考えています。そのため、2025年度は、地域医療構想に基づき、近隣の医療機関との連携を深め、患者さんが住み慣れた地域で安心して医療・介護を受けられる体制を構築します。また、病院機能評価受審に向けて、医療の質向上と安全管理体制の強化を図ります。職員一人ひとりがプロ意識を持ち、日々の業務の中で改善点を見つけ、より質の高い医療を提供できるよう努めます。さらに、医療安全管理室を中心に、インシデント・アクシデント事例の分析と対策を徹底し、患者さんの安全を最優先に考えた医療を提供します。

感染症対策については、地域の皆さんのお役に立てるよう、必要時には治療や入院医療を迅速に提供できる体制を整えます。

変化の激しい時代だからこそ、医療の原点に立ち返り、地域の皆さんとの信頼関係を大切にしたいと考えています。皆さんの健康と幸福を願い、職員一同、日々精進してまいりますので、今後とも当院の活動にご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、皆さんの益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年度のご挨拶とさせていただきます。



東大阪病院 院長
北野 均

新任医師のご紹介

2025年4月より診療を担当しております新入職の医師をご紹介します。



整形外科

いしだ ひろあき

医員 **石田 鴻晟** 医師

4月より当院の整形外科で勤務しております、石田鴻晟と申します。骨折を含む一般外傷の治療に注力してまいります。地域医療への貢献も心がけてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



整形外科

どい ひらたか

医員 **土居 平尚** 医師

4月より当院整形外科の常勤としてお世話になっております土居平尚と申します。骨折などの一般外傷や関節痛などの慢性疾患も診療させていただきます。何か気になることがありましたらお気軽に受診してください。よろしくお願いいたします。

整形外科について



年間590件以上の手術実績

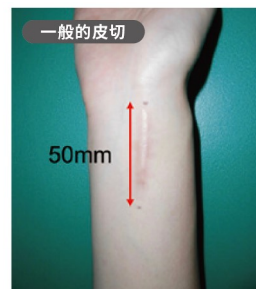
整形外科では、年間590件を超える手術を実施しています。腎不全、糖尿病、人工透析を受けている患者さんに対しても、院内の専門医と連携して手術を行います。また、高齢の方や基礎疾患をお持ちの患者さんには、内科医などと連携し、手術後の早期リハビリテーションを実現しています。

24時間365日、常駐の整形外科医師による救急対応

当院では、転倒、打撲、骨折、交通事故・労災事故による外傷、スポーツ外傷、救急外傷などに対し、24時間365日、常駐する整形外科医師が迅速に対応します。

体への負担が少ない、低侵襲手術

骨折の手術では、骨折部位を元の位置に戻す「整復」と、再度のずれを防ぐための「固定」を同時に行うことが不可欠です。一般的な切開手術では、整復と固定を比較的容易に行えますが、一方で、傷口が大きくなり、術後の痛みなどの懸念も増大します。当院では、高度な技術を要する低侵襲手術を積極的に行っています。これにより、傷口を最小限に抑えながらも、効率的かつ質の高い手術を迅速に行うことができます。



外科・消化器外科について



腹腔鏡手術の様子

東大阪病院外科では、2024年4月より医師3名体制となり、腹部消化器外科手術、特に腹腔鏡手術が可能となりました。新病院の手術室を最大限に活用し、患者さんにとって最善の医療を提供することに尽力しています。

腹腔鏡手術という低侵襲（傷が小さく、痛みの少ない）手術をはじめとし、質の高い治療を通じて、地域の患者さんに最大限の安心と信頼をお届けしたいと考えています。

また、地域の診療所や医療機関からご紹介いただいた患者さんに対し、迅速かつ丁寧な診療、手術治療を提供できる体制が整い、おかげさまで年間手術数は大幅に増加しています。

今後も、地域社会全体の健康維持に貢献するとともに、多くの患者さんにご満足いただける質の高い治療を確実に行えるよう、

スタッフ一同、日々努力を重ねてまいります。

当科では、主に以下の手術を中心とした診療を行っています。

- 1.大腸・直腸がん手術：**出血や便秘異常などの症状が現れることがありますが、近年では大腸がん検診（便潜血検査）や大腸カメラ検査での早期発見が増加しているからです。当科では、腹腔鏡下での大腸切除術や直腸切除術などを実施しています。術式や抗がん剤の使用など、治療方針はそれぞれの患者さんの病状やご希望を十分に考慮し、時間をかけてご相談させていただきます。
- 2.胃がん手術：**腹痛などの症状がある場合には、胃カメラによる精密な診断が不可欠です。当科では、腹腔鏡下での胃切除術や、患者さんの病状に適した個別化された抗がん剤治療などを提供しています。
- 3.胆嚢摘出術：**胆石症は激しい腹痛の原因となるだけでなく、胆嚢炎を引き起こすと重篤な状態に陥る可能性があります。診断には超音波検査（エコー）やCT検査などを用います。治療法として、腹腔鏡を用いて胆嚢を摘出する腹腔鏡下胆嚢摘出術を行っています。
- 4.そけいヘルニア手術：**そけい部（足の付け根）が膨らみ、痛みを伴う、いわゆる脱腸です。当科では、腹腔鏡手術（TEP手術）を実施し、傷口を小さく、痛みを軽減することで、患者さんの負担を最小限に抑えた安全な手術に努めています。

患者さん中心の質の高い診療を実現するためには、関連診療科の医師、看護師、薬剤師をはじめとする多職種医療スタッフとの緊密な連携・協力、すなわちチーム医療が不可欠です。東大阪病院外科は、患者さんにご家族のご要望に真摯に対応し、安全で安心できる医療を提供するために、チーム医療を積極的に実践してまいります。地域の診療所や医療施設との連携を重視し、地域に根差した医療を目指しています。今後も、地域の皆さんの健康を支える存在として、施設、技術、そして人材の全てを最大限に活かし、患者さん一人ひとりに寄り添う医療を提供してまいります。

リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算について

当院では、2024年6月より「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算」の取り組みを開始しました。この「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算」は、患者さんの早期回復を支援するため、回復の初期段階から「体を動かすこと（リハビリテーション）」、「適切な栄養を摂取すること（栄養管理）」、「お口の中の健康を保つこと（口腔管理）」の3つの要素を、専門スタッフが連携して実践するものです。病気やケガ、治療の影響によって身体機能が低下し、寝たきりになることを防ぐことを目的としており、「急性期病棟（手術や治療が必要な患者さんが入院される病棟）」で実施しています。

患者さんが一日も早く「ご自身で動けるようになること」や「お口から食事を摂れるようになること」を目指し、医師、看護師、リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）、管理栄養士などが、患者さん一人ひとりの状態に合わせた回復計画を立て、それぞれの専門性を活かして関わっていきます。

<具体的な取り組み内容>

- ▶**入院時・退院時の日常生活動作の評価**：患者さんの入院時と退院時に、日常生活を送る上での動作能力を評価し、回復度合いを確認します。
- ▶**入院早期の食生活・食物アレルギー等の確認**：入院後早期に、入院前の食習慣や食物アレルギーの有無などを確認し、栄養管理の基礎情報を収集します。
- ▶**入院早期のGLIM基準を用いた栄養状態の評価**：栄養状態の国際的な評価基準であるGLIM基準を用いて、入院早期に患者さんの栄養状態を把握します。
- ▶**低栄養リスク患者への重点的なサポート**：低栄養状態にある、またはそのリスクが高いと判断された患者さんを中心に、毎日の食事状況を注意深く観察し、食欲や食事摂取量などを詳細に記録します。
- ▶**多職種連携による食事内容・形態の調整**：食事状況に課題が見られる場合には、医師、看護師、リハビリテーション専門職、管理栄養士などが情報を共有し、患者さんに合わせた食事内容や形態への調整を行います。
- ▶**個別的な食事調整に関する提案**：必要に応じて、経口摂取が困難な患者さんへの経管栄養開始を含めた適切な食事調整方法を提案いたします。
- ▶**早期からのリハビリテーション開始**：リハビリテーションが必要と判断された患者さんに対しては、入院後3日以内を目安に早期のリハビリテーションを開始できる体制を整備しています。
- ▶**365日体制でのリハビリテーション実施**：患者さんの早期回復を促進するため土曜日、日曜日、祝日を含め、平日と同水準（8割以上）のリハビリテーションを提供しています。
- ▶**褥瘡（床ずれ）発生予防**：入院中の患者さんに褥瘡が発生しないよう、多職種で連携し、予防策を徹底します。



当院ではこれまで、急性期病棟におけるリハビリテーションの提供に力を入れて取り組んできました。今回の「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算」の導入により、その取り組みはさらに充実したものとなりました。これまでリハビリテーションの対象とならなかった、整形外科手術後の抜釘術のみの患者さんや、日常生活動作に介助が不要な腹腔鏡手術後の患者さんに対しても、術後の早期離床や動作指導などを積極的に行うようになりました。

今後も、入院されるすべての患者さんが安心して治療に専念し、一日も早くご自宅へ退院できるよう、多職種連携による質の高い医療を提供してまいります。

かかりつけ医を持ちましょう

▶「かかりつけ医」とは？

日本医師会では「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。



安住医院

● 内科 消化器内科 小児科 在宅診療

- ・院長：安住 治彦 先生
- ・住所：大阪市鶴見区横堤 1-1-5
- ・電話：06-6912-0377
- ・往診：有
- ・リハビリ：なし
- ・訪問診療：有
- ・診療時間



外 来	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	休	休
17:00~19:00	●	●	●	休	●	休	休	休

当院は鶴見区横堤の地に昭和33年に父が創設し、私が平成15年より継承し21年、現在に至っております。

私はこれまで大学病院と関連病院で勤務医として従事し、主に消化器疾患の診療に携わっておりました。その経験を活かし、現在も院内で上部消化管内視鏡、腹部超音波検査等を行っております。加えて地域のかかりつけ医として、小児の診療・予防接種から高齢者の在宅診療まで幅広く診療に当たっております。

お体でお困りのことがあればお気軽にご相談ください。

東大阪病院とは、これまでも緩和ケア病棟などで度々お世話になっておりましたが、この度ご縁がありまして登録医に登録させていただきました。

これを機会にこれまで以上に積極的に連携を取り、地域医療に貢献していきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

あおばおうちクリニック

● 在宅診療

- ・院長：黒田 洋平 先生
- ・住所：大阪市旭区森小路 1-11-10
- ・電話：050-3774-3191
- ・往診：有
- ・リハビリ：なし
- ・訪問診療：有
- ・診療時間



外 来	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	休	休	休
13:00~18:00	●	●	●	●	●	休	休	休

当院は千林大宮駅から徒歩数分の場所にあり、地域に根ざした医療を目指し、10年以上にわたり訪問診療を行ってまいりました。私たちは「その人らしい人生の最期を支える」ことを大切にしており、年間で約100人の看取りに関わらせていただいております。地域の訪問看護ステーションなど、さまざまな医療・介護事業所と連携し、多職種で協力しながら、患者さんとご家族を“面”で支える体制を整えています。すべての診療には常勤医師が対応し、継続的かつ丁寧な医療を提供しております。住み慣れたご自宅や施設で、安心して過ごしていただけるよう、ご本人はもちろん、ご家族の心にも寄り添える医療を心がけています。

今後も地域の皆さまの「暮らしの中の医療」を支え続けてまいります。東大阪病院には、患者さんの容体が悪化した際の入院や、「最期の時間を緩和ケア病棟で過ごしたい」といったご希望への対応など、さまざまな場面でご支援をいただいております。大変お世話になっております。訪問診療をご検討の方は、どうぞお気軽にご相談ください。



春キャベツの豚肉ロール と 新たまねぎのふろふきタマネギ



春キャベツの豚肉ロール

甘みたっぷりの春キャベツを豚肉で巻き、
甘辛だれで香ばしく焼き上げました。
レンジで下ごしらえも簡単！



春キャベツの豚肉ロール レシピ

<材料(2人分)>

- ・豚ロース薄切り肉・・・・・・・・・・6枚
- ・春キャベツ・・・・・・・・・・・・・3枚
- ・しょうゆ・・・・・・・・・・・・・大さじ1
- ・みりん・・・・・・・・・・・・・大さじ1
- ・料理酒・・・・・・・・・・・・・大さじ1
- ・チューブにんにく・・・・・・・・・・1cm程度

<作り方>

- ①春キャベツは葉のまま耐熱ボウルに入れ、ラップをして電子レンジ（600W）で2分加熱する。粗熱が取れたら千切りにし、軽く水気を絞る。
- ②豚肉を広げ、①の春キャベツを乗せて巻く。
フライパンに②を巻き終わりを下にして中火で焼く。
巻き終わりがくっいたら、転がしながら全体に焼き色をつける。弱火にし、蓋をして1～2分程度加熱し、全体に火が通るまで蒸し焼きにする。
- ③料理酒、しょうゆ、みりん、チューブにんにくを加え、火を強めて照りが出るまで炒め煮にする。

新たまねぎのふろふきタマネギ

旬の新たまねぎをレンジ加熱で甘く仕上げ、
風味豊かな味噌だれで和えました。
あと一品にぴったり。



新たまねぎのふろふきタマネギ レシピ

<材料(2人分)>

- ・新たまねぎ・・・・・・・・・・・・・2個
- ・味噌・・・・・・・・・・・・・小さじ1
- ・しょうゆ・・・・・・・・・・・・・小さじ1
- ・砂糖・・・・・・・・・・・・・小さじ1
- ・みりん・・・・・・・・・・・・・小さじ1
- ・料理酒・・・・・・・・・・・・・小さじ1
- ・青のり(飾り用)・・・・・・・・・・ひとつまみ

<作り方>

- ①新たまねぎは皮をむき、ラップで包んだら耐熱皿に入れ、電子レンジ（600W）で3分ほど加熱する。
- ②味噌、料理酒、しょうゆ、みりん、砂糖を混ぜ合わせ耐熱容器に入れて電子レンジ（600W）で1分ほど加熱する。
- ③器に①のたまねぎを盛り付け、②と青のりをかけたら出来上がり。

外 来 診 療 一 覧

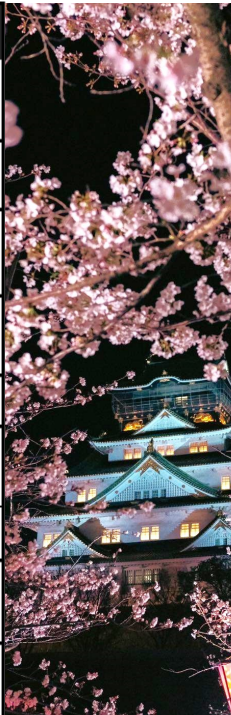
		診療科	月	火	水	木	金	土
午前診	内科	総合・ 一般内科	宮村 (11:45終了)		井上	大嶋 (11:45終了)		落合 西澤(第1・2・4週)
		消化器	北野(均)	北野(均) ○坂東		○柳生		○坂東
		循環器		○岩村		○藤原	○藤原	朴
		呼吸器・腫瘍	○片芝(雄)		○札谷		藤井	山中(第2週) 第3週交代制 荒木/横原/ 北川/永田
					池田			第4週交代制 荒木/横原/永田
		内分泌 糖尿病	春里			○大野 (10:30開始)	小豆澤 【糖尿病】 【一般内科】	
	外科系	外科・ 消化器外科		道上	足立 【肛門外科】	太田	道上	
		整形外科	土居 ◎中島	矢倉	矢倉 ○莫(おおえ) 【膝・股関節】	石田	土居 山田【膝関節】 (12:00終了) (第3週休診)	石田 (11:45終了) ◎中島 (11:45終了)
		リハビリ		菅 (11:30終了)		◎片山 (退院患者様のみ) (9:45～10:45)		
		脳外科 (11:45終了)						徳永(1・3・5週) 仁木(2・4週)
		皮膚科 (11:45終了)		岡本				
		受付時間 8:30開始 12:15終了						
診察時間 9:00開始								

		診療科	月	火	水	木	金
午後診	内科	総合・一般内科	宮村		篠藤 【神経内科】		
		消化器					北野(均)
		循環器				二木 ○山本	
		呼吸器・腫瘍	永田	○片芝(雄) (16:20終了)		中濱	○札谷
		膠原病		○石井			田中
		内分泌 糖尿病				○大野 (第3週休診)	
		腎不全外来		◎三上			
	外科系	緩和ケア					◎足立(1・3週) ◎道上(2・4週)
		皮膚科 (16:30終了)					富江

受付時間
13:45開始
16:45終了

(外科系は
13:40開始)

診察時間
14:00開始



◎…完全予約制 ○…部分予約制 赤字:女性医師 ※内科医師全員専門以外に内科一般の診察をいたします。

お見舞い・面会の方へ

院内感染対策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

当院では、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の拡大防止のため、当面の間、面会制限とさせていただきます。

入院患者さんの感染予防と安全を確保するため、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

【面会が可能な方】

- ・ご家族(配偶者・両親・子・身の回りのお世話をされる方)
- ・入院や退院に伴う付き添い・手術や検査・緊急の呼び出しのためご来院された場合は、受付においてその旨をお伝えください。

【面会をご遠慮いただく方】

- ・1週間以内に発熱・咳などの風邪症状や、胃腸症状などがある方(同居家族に同様の症状がある場合もご遠慮いただきます)
- ・中学生以下(15歳以下)の方
- ・海外から帰国後、2週間経過していない方

【面会日・面会時間】

- 平日(月～金)、土日(祝日含む) 14時～17時
- 1家族2名まで、20分以内とさせていただきます。

【面会の手続き】

- ・各病棟のスタッフステーション窓口で面会簿に面会者の方の情報・体温・体調確認などの必要事項を記入し、面会者証を明示した状態で、スタッフへお声掛けください。
- ・面会者の健康状態および患者さんの状態により、当日にお断りする場合があります。

【面会時のお願い】

- ・病室に入る際は**不織布マスクの着用・手洗いや手指消毒の実施をお願いします。**
- ・面会者の飲食はご遠慮ください。
- ・面会の際、大きな声での会話はお控えください。
- ・面会後に面会者の新型コロナウイルスなどの感染が判明した場合は速やかにお知らせください。

※地域の感染症流行状況により、再度面会禁止の措置を行う場合があります。

※緩和ケア病棟の面会については病棟スタッフへお問い合わせください。

2025年4月現在

社会医療法人有隣会

東大阪病院

〒536-0005 大阪府大阪市城東区中央三丁目4-32

代 表 06(6939)1121

F A X 06(6939)1191

E-mail kikaku@yurin.or.jp

ホームページ <https://www.yurin.or.jp/>

【地域医療連携室】 ※医療機関専用※

直通電話番号：06-6932-0369 mail: renkei@yurin.or.jp

直通FAX番号：06-6932-0086 FAXは24時間受付します

◇東大阪病院

- ・一般病棟112床
- ・障がい者施設等病棟60床
- ・回復期リハビリテーション病棟60床
- ・緩和ケア病棟23床

◇関連施設

- ▶東大阪病院附属クリニック(在宅リハビリテーション課)
- ▶アイユウ東大阪病院・居宅介護支援事業所
- ▶訪問看護ステーションゆうりん

アクセス方法 access

